

いすみの園だより

その

vol. 91
夏号
2024.8.30



信望愛

それゆえ、信仰と、希望と、愛、この三つは、いつまでも残る。その中で最も大いなるものは愛である。 コリントの信徒への手紙I13:13

基本理念

神と人々に仕えるキリスト教の愛と奉仕の精神を基本理念とする

●アメニティ(快適主義) ●ヒューマニティ(人間主義) ●ローカリティ(地域主義)



福祉の力で地域を支え、 未来を築く。

2024年度 理事会、定時評議員会 聖愛ホームご入居者絵本作成

連載企画

- 新連載 テクノロジー活用による生産性向上
- 入居者礼拝より
- 私たちの魅力

永眠者追悼記念礼拝

就職説明会



2024年度第1回理事会、定時評議員会が行われました。

〈2024年度第1回理事会〉

2024年度第1回理事会が6月5日（水）10:30よりいずみの園ミーティングルームにおいて、理事9名、監事2名の出席で行われました。

第1号議案「2023年度事業報告(案)（理事長の職務執行状況報告）に関する件」、第2号議案「2023年度決算報告(案)及び監事監査結果に関する件」、第3号議案「定款変更に関する件」、第4号議案「各規程の改正に関する件」、第5号議案「施設隣地(永添2744)の土地購入協議申入れに関する件」、第6号議案「2024年度定時評議員会開催日程及び議案に関する件」、が上程され、いずれも全会一致で承認されました。

〈2024年度定時評議員会〉

今年度の定時評議員会が6月21日（金）10:30よりいずみの園ミーティングルームにおいて行われました。

議長選出の後、審議事項として第1号議案「2023年度事業報告(理事長の職務執行状況報告)に関する件」、第2号議案「2023年度決算報告及び監事監査結果に関する件」、第3号議案「定款変更に関する件」、第4号議案「役員等報酬規程の改正に関する件」の4議案について審議が行われ、いずれも全会一致で承認、可決されました。



評議員会の様子

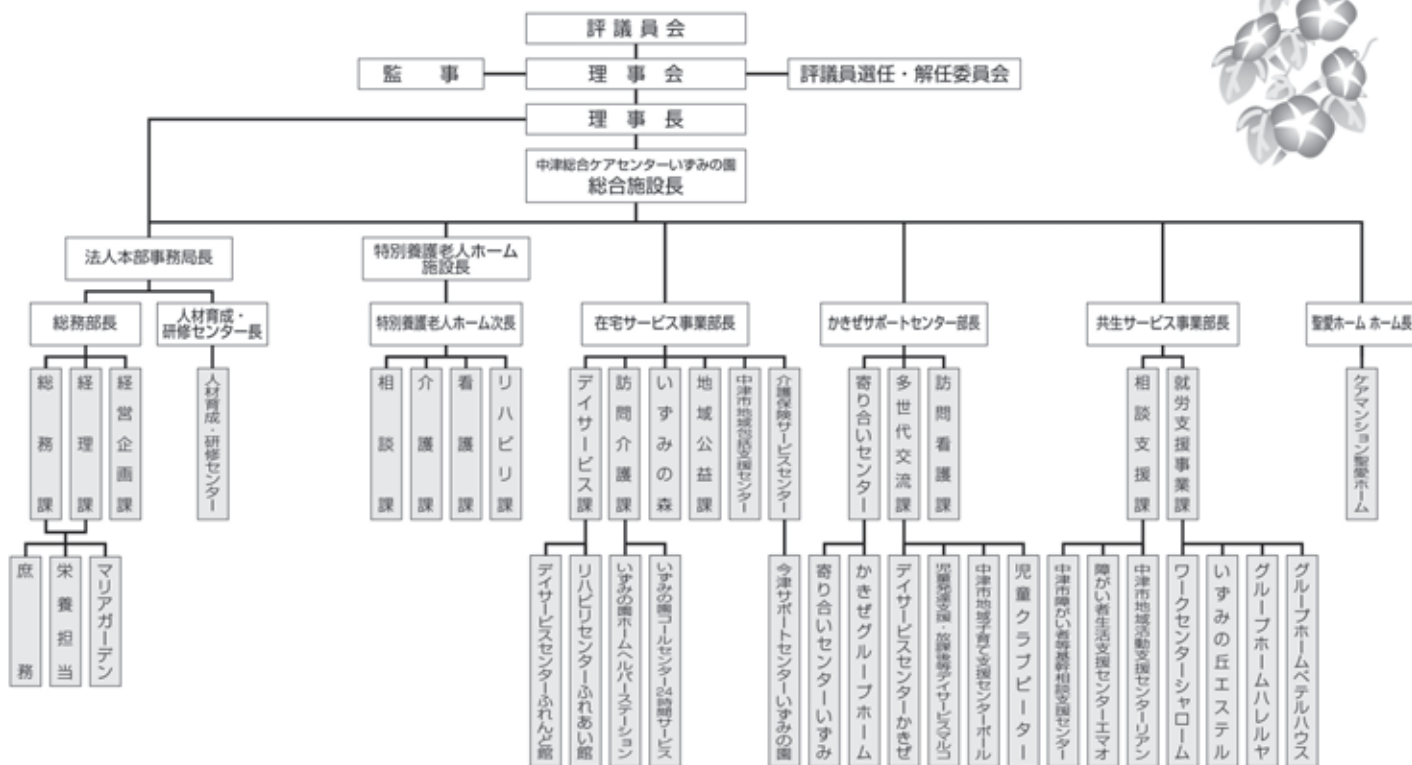


理事会の様子



理事長挨拶

中津総合ケアセンターいずみの園 組織図 (2024年4月1日現在)



2024年度「中津総合ケアセンター いずみの園」事業計画重点事項

総務部		在宅サービス事業部		かきぜサポートセンター	
総務課	①コスト削減に関する取り組み ②労務管理環境の向上	デイサービスセンター みれんど	①安定した収入確保 ②中重度介護者(要介護3～5)の支援 ～中重度加算の実践～	寄り合いセンター いずみ	①登録者及び適正利益の確保 ②感染予防に配慮した行事の実施
経理課	①経営分析の研究 ②消費税についての勉強会実施	リハビリセンター みれあい館	①介護予防の維持 ②介護度の改善	かきぜグループ ホーム	①稼働率の維持と適正利益の確保 ②感染予防に配慮した行事の実施
栄養担当	①利用者ニーズの把握 ②衛生管理の情報収集	ヘルパー ステーション	①安定した収入の確保 ②介護技術の向上	デイサービスセンター かきぜ	①制度に準じた運営実施 ②事業所間での多世代交流
マリア ガーデン	①マリアガーデンのPR活動実施 ②職員研修の実施(BCP)救急救命研修	コールセンター	①人材の育成 ②モニタリング訪問・機器点検保守	児童発達・訓練 新デイサービス	①児童発達支援登録者の確保 ②制度に準じた運営実施
経営企画課	①人材確保、働き方改革の推進 ②広報活動による福祉介護のイメージUP	コールセンター 24時間サービス	①最低限の利用者確保 ②地域との連携強化	子育て支援 センター	①行事の見直し ②ご家族での行事参加
人材育成・研修センター		いずみの森	①体験型行事の実施 ②施設内環境の整備実施	児童クラブ ピーター	①事業所間での多世代交流 ②季節に応じた行事開催
人材育成・ 研修センター	①初任者研修・実務者研修受講者確保 ②受験対策講座受講者の介護福祉士 国家試験合格率向上	地域包括支援 センター	①認知症関係研修の主催、参加人数の達成 ②地域住民との連携強化	訪問看護課	①医療依存度の高い方の迅速な受入と 様々なニーズへの対応 ②サービスの質の向上(人材育成)
特別養護老人ホーム		介護保険サービス センター	①特定事業所加算Ⅱ算定継続 ②多様化・複雑化する課題に対する事例 検討会や研修会への参加	共生サービス事業部	
相談課	①ショートステイサービスの稼働安定 ②生産性向上に向けた取り組み	今津サポート センター	①多様化・複雑化する課題に対する事例 検討会や研修会への参加 ②特定事業所加算算定継続	中津市障がい者 等基幹相談支援 センター	①共生社会の実現に向けて質の向上・ 連携強化の取り組み ②地域の相談支援体制の質の向上と連携 強化
介護課	①LIFEを活用した質の高い介護の実施 ②地域・ご家族を交えた行事の実施・ 楽しみの提供			障がい者生活支援 センター-イマオ	①相談支援の質の向上・人材育成 ②計画相談支援加算の取得
看護課	①協力医療機関との連携強化 ②看取りケアの充実			中津市地域活動支援 センター-リアン	①余暇活動の場の提供 ②普及啓発の実施、広報誌発行
リハビリ課	①職場環境アセスメントの実施 ②新設リハビリコーナーの特色整備			ワークセンター シャローム	①作業会計の収入増 ②経費削減
				いずみの丘グループ ホームハレルヤ	①短期入所利用者の稼働増 ②季節に応じた行事の実施
				ケアマンション聖愛ホーム	
				ケアマンション 聖愛ホーム	①稼働率の維持と適正利益の確保 ②感染予防に配慮した行事の実施



人事関係

2024年4月2日以降

① 新採用職員

2024年	5月 1日	近藤 優姫	総務部	経理課	事務員
		船田 海吏	総務部	総務課	事務員
	16日	古屋 愛	在宅サービス事業部	訪問介護課	ホームヘルパー
	7月 1日	西村美千代	かきぜサポートセンター	児童クラブピーター	児童指導員

② 異動職員

2024年	5月 1日	橋内 毅敏	かきぜサポートセンター	かきぜグループホーム	介護員
		前田 静代	かきぜサポートセンター	寄り合いセンターいずみ	介護員
		谷口 忍	特別養護老人ホーム	介護課	介護員
	6月 1日	鳥ノ江良太	特別養護老人ホーム	介護課	主任

(以上 2024年8月1日まで)

テクノロジー活用による生産性向上

～ショートステイ棟編～

特別養護老人ホームいずみの園
リハビリ課 課長 高倉 哲也



前回のいずみの園より90号(春号)でも「ショートステイ棟完成しました!!」という内容に、若干今回の内容を織り交ぜさせていただきましたが、本稿では「テクノロジーを活用した生産性向上(業務改善)」というテーマでその詳細についてお伝えします。

2023年度特別養護老人ホームいずみの園は、大分県介護ロボット普及推進センターの伴走支援事業をモデル施設として受ける機会を得ることができました。事業内容としては、どこの職場でも抱えている、いわゆる業務課題」というものに、組織が一体となり解決に向けて包括的に取り組むマネジメントシステムの構築を目的としたものでした。

今回導入したテクノロジー機器に関して、導入の経緯としては、担当職員からの意見聴取で明らかになった課題として、「ショートステイご利用者の夜間帯の転倒・転落予防に対する不安感」が挙げられました。夜勤業務の中で、安否確認のルールとして、1時間に1回必ず全ご利用者の部屋を訪問することとなっており、夜間24床を一人で見回ることの身体的・精神的不安は非常に高いものがあるという意見がほとんどでした。

そうした現場の課題に対して、伴走支援者の助言をいただきながら、安否確認ルールの代替手段として、

テクノロジー活用が取り入れられることとなりました。

今回導入した機器は、「アイホン V-nurse 見守りカメラ N L XICA(写真①)」で、居室内に設置したカメラ(写真②)と職員が所持するスマートフォン(社用携帯写真③)が連動し、訪室しなくてもご利用者の状況が目視で確認できるようになりました。また、種々影響により転倒リスク自己管理が困難な方の場合に、見守り設定という付帯機能を使用することで、ご利用者のリスクが高まった時点で職員に通知が届く仕組みになっており、アクシデントの事前回避が目視で判断できるようになりました。

導入から約5か月が経過し、導入



写真① 見守りカメラ本体



写真② 居室の様子



写真③ スマホ・タブレットと連動

前にルール化されていた「安否確認のための訪室」は完全にテクノロジー機器に代替し、リスクの高いご利用者に焦点を当てた見守り支援の提供が可能となりました。しかしながらまだ5か月、職員がテクノロジー機器を十分に理解し活用できていないかと言われれば、まだまだ不十分な状態にあります。今後、ますます機器理解が高まり活用する職員が増えていくことによって、さらなる生産性向上につながることが期待できます。

さて、次回92号(冬号)では、テクノロジー活用による生産性向上(第2回)「ヨハネ館編」をお伝えする予定としています。ショートステイ棟導入機器との違いを織り交ぜながら活用状況・改善状況をお知らせいたします。

いずみの園トピックス

2024.6.20

「特別養護老人ホームいずみの園」でサンドイッチランチプレートを作りました。

「特別養護老人ホームいずみの園」きぼう4番地でランチプレート（サンドイッチ、サラダ、パパロアのデザート）を作りました。

ゆで卵を潰し、パンにバターを塗り、レタスをちぎり、8枚切りのパンに好きなだけ具を挟みサンドイッチを作りました。

ご利用者はつるつる滑る卵に「なかなか潰れんね」と苦戦。具を挟み過ぎてボリューム満点のサンドイッチが完成。「あーお腹いっぱい。よー食べた」と笑顔が見られていました。

（特別養護老人ホームいずみの園）

クッキングの様子



「ワークセンターシャローム」で田植えを行いました。

「ワークセンターシャローム」（就労継続支援B型）で田植えを行いました。

6月18日（火）、19日（水）梅雨の合間の晴れ間に、8反の田んぼに田植えを行うことが出来ました。順調に育ってくれるのを祈りつつ、今から秋の収穫がとても楽しみです。（ワークセンターシャローム）



田植えの様子



「中津市地域子育て支援センターポール」で足のメンテナンス教室を行いました。

6月19日（水）「中津市地域子育て支援センターポール」でフットケア指導士の高橋恵子先生にお越しいただき、「足のメンテナンス教室」を行いました。

今回は「靴の選び方と爪の切り方」を学び、爪の切り方は「真っすぐ切る」と教えて頂きました。靴選びは



見た目や形ではなく、足のための靴選びポイントを知ることができました。お話の後、個別に足を診て頂いて気になることや改善の方法を聞きました。

いつまでも元気で歩き続けられるように今から気を付けていきたいです。（中津市地域子育て支援センターポール）



「デイサービスセンターふれんど館」でスイカを収穫して食べました。

7月22日（月）「デイサービスセンターふれんど館」でご利用者の皆様と植えたスイカを収穫し、おやつ時間に召し上がっていただきました。

スイカは甘くて冷たかったのですぐに食べ終わってしまいました。ご利用者より「このスイカ甘くておいしい！」と大好評でした。

まだまだ、スイカが出来ているので収穫していきたいと思います。（デイサービスセンターふれんど館）



「シニアレジデンスいずみの森」で外食ドライブをしました。

7月25日（木）「シニアレジデンスいずみの森」で外食ドライブをしました。

暑さを乗り越えていただこうと、毎年この時季に行っている外出ドライブとして、日田へ美味しいうなぎを食べに出かけました。ご利用者4名と職員2名にてうなぎを食べ、

通りにあった昔ながらのお菓屋さんを見学し、その後「日田天領水の里 元気の駅」にて買い物をしてきました。

（シニアレジデンスいずみの森）



入居者礼拝より



ケアマンション聖愛ホームでは毎月2、3回近隣教会の牧師にお越しいただき入居者礼拝を行っています。ここでは入居者礼拝のメッセージをお伝えします。

「生きた川の流れ」

中津教会 廣安慎太郎

「渴いている人はだれでも、わたしのところに来て飲みなさい。わたしを信じる者は、聖書に書いてあるとおり、その人の内から生きた水が川となって流れ出るようになる。」

(ヨハネによる福音書7:37-38)

渴いている人とはどういう人でしょう。のどが渴くように救いを求めている人です。すなわち渴いた人とは、霊的に渴くことでもあり、慰め・喜び・力に欠けている人々であります。霊的渴きに置かれている人に「私のところへ来て飲みなさい」と主イエスは言われます。

心のどこかで、乾きを覚えている人は、何か他のもので乾きを潤しているのかもしれませんが。

しかし、主のもとに行く時に魂の渴きを癒されるだけではなく、回りの人をもまきこみ、潤していく流れになっていくのです。

「初歩のうちの弟子は受けた水しか出せない井戸のようであるが、もっと進歩した弟子は生ける水を出す泉である」とラビアキバという人が言っています。聖書の主イエスの言葉を聞いて、愛と慰めを受ける者は泉となり愛の源流となっていきます。いずみの園から地域に生きた水が川となって流れ出ていきます。

7月23日(火)の礼拝より

ケアマンション聖愛ホームご入居者が絵本を作りました。



『すずめとからしだね』 さく よしたかみこ
吉高さんの絵本誕生秘話〜夢から生まれた絵本〜



ある夜、吉高さんは「小さなすずめ」と「からし種の木」の夢を見られたそうです。その鮮明な夢を絵本にしたいと決意され、旦那さんの応援も得て、画用紙の絵本を作りしました。牧師である息子さんに見せた手作りの絵本は、印刷製本され、出版へと繋がり、多くの人に感動を与えています。

絵本には「人との繋がり」「祈り」「平和への願い」というメッセージが込められています。吉高さんを取り巻く人々の温かい繋がりによって生まれた絵本は、聖愛ホームに展示されています。ぜひ、そのメッセージを受け取ってみてください。

吉高美穂さんより

30年前、私はイスラエルの旅の途中、ガザ地区の街を通り、実際に大きく伸びたからし種の木と針の先程の「からしだね」を見て感動したのです。そのガザ地区が今や空爆で、子どもたちが悲惨な状態です。ウクライナにしてもそうですが、私たち夫婦は毎晩、平和を願って祈ります。しかし、一方で、夫の病気の事で苦しくなると他事になり自分達の病気の事ばかり祈ります。そうした矛盾した自分の弱さが、飛べない雀として夢に見たのでしょうか。不思議に続きの絵本に書きたくなって…「神様の愛」にすがる思いでしょうね。どうぞ未来の子どもたちに平和な世界が与えられますように、と今もただただ祈り続けています。



ここでは、各事業所の
“魅力”や“こだわり”を紹介します。
いずみの園の内側を
少しでも知っていただければ
幸いです。

収穫体験



交通安全指導



外遊び



Vol.14

私たちの 魅力

児童クラブピーター

開設：2007年4月

学習の時間



水遊び



児童クラブピーターは、2007年4月に中津市から委託（放課後児童健全育成事業）を受けてスタートしました。平日の放課後や土曜日及び長期休暇時に、労働等により保護者が自宅にいない小学生の児童を対象とし、安全かつ健全な育成を図ることを目的に運営をしています。

平日は、放課後から18：00まで、土曜日及び長期休暇時は8：00から17：30までを基本としています。必要に応じて1時間を限度に延長対応も行っています。

特徴としては、同敷地内に高齢者福祉の事業や他の児童福祉の事業も行っているため、多世代での交流を図ることのできる場でもあります。

事業を開始してから17年運営を継続して行っています。今後も児童の健全育成の役割の一端を担っていけるよう職員一同全力でご支援をさせていただきます。



編集後記

ひまわり

今年の夏は記録的な暑さに見舞われていますが、いずみの園のひまわりはそんな暑さにも負けず、力強く咲いています。鮮やかな黄色の花が風に揺れる姿は、私たちに元氣と希望を与えてくれます。自然の生命力に改めて感動し、この暑い夏を乗り切るためのパワーをもらいました。まだまだ暑い日が続きますが皆様もお体に気をつけてお過ごしください。

(松)

「いずみの園フェスタ」 開催中止のお知らせ



毎年秋に開催しています「いずみの園フェスタ」につきまして、現在、特別養護老人ホームいずみの園建物の周辺工事を行っています。このため本年度も中止させていただく運びとなりました。

次回開催時より一層力を入れて、盛大にフェスタを盛り上げてまいりますので、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

永眠者追悼記念礼拝が行われました。

8月8日(木) 14:30より「いずみの園」のご利用者で、この一年間にお亡くなりになられた方の「永眠者追悼記念礼拝式」がキリスト教式で行われました。

追悼記念礼拝には、ご家族の方、特別養護老人ホーム・聖愛ホームのご利用者などが参加されました。司式は中津教会 廣安慎太郎牧師が行いました。司式者による「ルカによる福音書7章11節～17節」の朗読、「命の行列」と題しての説教、祈祷、また参加者全員より讃美歌を歌い、故人を偲びました。
(経営企画課)



寄り合いセンターいずみ
うめジュース作り



商工会議所清掃活動

#いずみの園
Photo!

いずみの園の「Facebook」「Instagram」に
掲載した写真を紹介していきます。



Facebook



Instagram



FacebookやInstagramの「いいね」「フォロー」
お待ちしております！
スマートフォンの方は上記のQRコードから
読み込ませてください！



ふれんど館 スイカが出来ました！



ひまわりが元気に咲いています！

あなたのサービスが、最高の思い出にかわる！ 私たちと一緒に働きませんか？

就職説明会

オンライン就職説明会を
希望の方はホームページ
からお申込みください。



時間 平日10時～・15時～ 随時開催中！
希望日に行いますので、お問い合わせください。

対象 来春卒業予定の大学・短大・専門学校の皆さん
高校生の方は、学校にお問い合わせください。

こちらのQRコードから
申し込みフォームに記入、
または直接お電話ください。



お申し込み・お問い合わせ

TEL 0979-23-1616

担当：いずみの園総務部